

平成 29年 8月 24日

箕輪町議会議長 木村 英雄 様

箕輪町議会議員 釜屋 美春



議員グループ研修派遣結果報告書

箕輪町議会議員グループ研修実施要領第4条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

研修名	マニフェスト・サミット2017 「政策で勝負する議会へ～次世代の地域経済を考える」
研修の期間	2017年7月31日（月）～8月1日（火）
研修の場所	衆議院第一議員会館 多目的ホール
成果 （具体的に）	別紙のとおり
グループ研修 派遣議員名	小島常男 小出島文雄 中澤清明 釜屋美春 大槻金吾 唐沢敏

「コミュニケーションロボットを活用した『高齢者支援サービス』」について  
加賀屋豊明氏（（株）NTTデータ技術開発部 シニアエキスパート）

○医療介護分野における社会課題

今後10年かけ、日本は超高齢化社会に突入する。医療・介護を要する高齢者が増加するのに反して、人的リソースは圧倒的に不足する。

認知症高齢者数と65歳以上高齢者に占める割合

2015年	345万人	10.2%
2025年	470万人	12.8%

○医療介護をめぐる政策動向

「施設から在宅へ」というスローガンのもと、2018年度に医療・介護双方の構造改革が実施される。

ポイント1 医療病棟の機能分化

医療病棟の機能登録の義務化、  
多くの病棟が、病床が制限された  
地域医療拠点病棟へ移行

ポイント2 在宅復帰へのインセンティブ強化

在宅復帰率を医療報酬評価基準に反映  
在宅医療・介護報酬の見直し

ポイント3 高齢者も在宅療養を志向

約60%の国民が在宅生活を希望

今後数年間で在宅生活者が爆発的な増加が予想される。高齢者の在宅復帰を後押しする一方、在宅生活をサポートする体制の構築が喫緊の課題である。

### ○コミュニケーションロボットによる高齢者見守りサービス

センサー・ロボット技術を活用しリアルタイムな見守りを実現することで、在宅高齢者と地域・家族をつなぐサービスを提供することを目指す。

### ○見守りロボットサービスの具体例

- ・ 対話による口腔機能、聴力機能の低下防止、対話による認知機能改善。
- ・ センサーデータやロボットの対話履歴を統合し、高齢者の行動や周辺状況を把握。
- ・ 離れて暮らす家族やケアマネージャーに生活状況を通知。
  - ・ 朝の声掛け 起床したら声掛け・安否確認
  - ・ 居室での生活記録 一人の時間における生活の記録をとる
  - ・ 服薬の確認 薬の飲み忘れを防止する
  - ・ 夜間起床時の声掛け 店頭や夜間外出を察知
- ・ 場面に応じてロボットが高齢者と対話し、センサーデータと対話履歴により、生活状況を把握。

### ○利用者に対する効果・反応

- ・ コミュニケーションロボットとの会話に関して心理的な負担を感じることは特になく、期待されていた対話誘発効果が発揮されていることを確認。
- ・ 夜間起床時の対話では「安心感を実感した。」「気使いが嬉しい」。
- ・ 朝の声かけでは「So t a君の体調はいかが。」「など「会話自体が楽しかった」。
- ・ ロボットとの会話量は使用頻度により徐々に増加、特に高齢者からの語り掛けが増加している。
- ・ 高齢者から「ないと寂しい」・「今度いつ来るの」などの反応がある。
- ・ ロボットから発生する音声によって、高齢者が聞き取りにくく、何度も聞き直す場面があり、調整の課題がある。

### ○見守り支援システムの提供機能

- ・ 見守り支援システムは、「①起床サポート」「②生活記録」「③夜間サポート」「④転倒検知」の4つの機能を提供する。対象高齢者の生活パターン情報を提供してもらい、それに合わせたシステムを提供する。
- ・ 高齢者の生活スケジュールと介護スタッフの業務を合わせたシステムの提供を受けることにより、見守り範囲の拡大（施設の巡回）、個別ケアの強化（介助の充実）が期待できる。

### ○今後の発展の方向性について

これまでの実証実験を踏まえて

「人間のスタッフが対応することが望ましい業務」と「機械で代替えてスタッフの負担を軽減すべき業務」を見極め、機能の適切な高度化を推進していく必要があるとされている。お医者さんと面と向かうと非常に緊張したり構えてしまい診断にならないこともあるが、ロボットを利用することにより気軽に受けられ施設内だけでなく在宅で受けることができる。また普段の会話から兆候を見ることができれば早期発見につながる。

◎「コミュニケーションロボットを活用した『高齢者支援サービス』」についての所感

高齢化社会に向かって介護人材不足の現状、家族や介護現場の負担軽減のために I T C 分野の進化による活用は時代の流れであることは否めないが、ひとでなければならぬ場面と器械に委ねられる場面との、バランスが取れた開発・進化を望むところです。

◎マニフェスト・サミットに参加しての所感

若手議員が少ない当町においては、議員の任期が 2 ～ 3 期である現状を考えると、議員が議会改革の意識を強く持つことが重要と考えます。先進的に議会改革を進めている議会では、議会事務局の積極的な関りがあることから、今後の当町の議会改革に活かしていくことが望ましいと考えます。